

平成21年度第15回高等部卒業証書授与式式辞

正門にそびえる大木のくすの木が、季節を感じ、新しい葉に衣替えをする準備をしています。皆さんの3年間の学校生活をずっと温かく見守ってきた、くすの木です。

第15回高等部卒業生のみなさん、御卒業おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

今日は、皆さんの卒業をお祝いして、広島市長秋葉忠利様、PTA 会長中島恵様、広島市議会議員馬庭恭子様、桑田恭子様、並びに広島市教育委員会特別支援教育課長三村千秋様、同窓会長新見英明様、登下校でお世話になったスクールバスの運転手の方々をはじめ、多くの来賓の方々がおいでくださっておられます。ありがたいことです。皆さんと一緒にお礼を言いましょ。「ありがとうございます。」

また、皆さんの晴れの姿を一目見るとともに、我が子の成長をともに喜び合いたいというお父さん、お母さん、御家族の方もたくさん参加してくださっております。

なによりも、学校生活をともにした高等部1年生、2年生の後輩も、お兄さんお姉さんの皆さんの姿をかたずをのんで見守ってくれています。

ほんとうにうれしいことです。

ただ今、卒業生の皆さん一人一人に、心を込めて卒業証書を渡しました。この卒業証書は、とても大切なものだからです。雨の日も、風の日にも、それこそ焼き付くような暑い日もありました。凍り付くような寒い日もありました。時には、お父さん、お母さん、そして先生からも叱られたり、励まされたりしたこともあったでしょう。しかし、皆さんはよく頑張り、よく耐えて、よく学んで、鍛えてきました。そんな3年間の喜びや苦しみ、悲しみ、汗や涙など様々な思い出がいっぱい詰まったものが卒業証書なのです。

私は見てきました。皆さんが、友達と楽しそうに会話をする姿を。おいしそうに友達と語りながら給食を食べる姿を。朝のランニングで一所懸命走る姿を。体育祭の組体操で友達同士で励まし合っている姿を。文化祭でたくさんのお客さんに丁寧に接している姿を。私は見てきました。皆さんが、職場実習で真剣に仕事をしている姿を。修学旅行の思い出をうれしそうに話してくれた姿を。ビックアーチでのマラソン大会が雨で中止になって悔しがる姿を。生徒会で声を一杯に出してあいさつ運動をする姿を。登校・下校のとき元気に挨拶をしてくれた姿を。私は見てきました。皆さんの姿は、決して忘れません。

思い出の多い高等部での生活。お世話になった先生や、仲の良かった友達との別れ。寂しいことでしょう。私も先生方も皆さんと別れるのはつらいのですが、皆さんの希望に満ちた新しい生活に心から祝福を送りたいのです。

おめでとう。卒業おめでとう。さようなら、元気でね。さようなら。社会に出て頑張ってください。いつまでも、見守っています。厳しくいやなことにもぶつかります。それをはねのけて進んでください。応援しています。本校を卒業したことに、誇りをもって、胸を張って歩いてください。

卒業生の皆さん、時々皆さんの母校であるこの学校に寄ってください。遊びに来てください。待っていますよ。

終わりにになりましたが、御来賓の皆様には厚くお礼を申し上げます。また、保護者、御家族の皆様、おめでとうございます。心よりお祝いを申し上げますとともに、本校の教育推進に御理解と御協力を賜りましたことに深く感謝申し上げます、式辞とします。

平成22年3月10日

広島市立広島特別支援学校長 中尾秀行